



令和6年度 一般会計予算質疑

子ども防災体験学習事業

Q 市内小学4年生が対象ということであるが、どのようなことを計画しているのか。

A 小学4年生を中心に、概ね3時間程度の防災学習を予定しており、防災食の試食や防災行政無線の見学などを考えている。

大学生による地域創生 アイデアコンペ事業

Q 何か目に見えるような効果はあるのか。

A 毎年、施策に直結するような提案をいただいている。新年度であればホームページのリニューアル等についての提案を事業反映している。

新年度予算は、予算決算特別委員会の各分科会で審査しています。ここでは、
緑文字 総務生活分科会
橙文字 福祉文教分科会
青文字 経済建設分科会
での主な質疑を掲載しています。

子ども家庭センター すくすく運営事業

Q これまでの子育て応援センターとの違いはどのようなものなのか。

A これまでは、母子保健事業と、児童福祉事業とで窓口が別々のため、相談内容について職員同士で引継ぎを行い、連携を図ってきた。子ども家庭センターでは、窓口はこれまでどおり2つではあるが、センター長と統括支援員を配置して、一体的な相談支援業務に取り組んでいくようになる。

放課後児童クラブ事業

Q 利用者が多い中、保育料に対して、市はどのような考えを持っているのか。

A 昨今の物価高騰等により、保育料の減額は当面は考えていない。国が示す基準では、利用者負担が50%、公費負担が50%とされている。利用者負担が50%を超えた時には減額を検討する必要があると考えている。



人工芝多目的グラウンド 整備事業

Q 具体的な場所と実施可能な競技はどのような予定であるのか。また、管理はどの課が担当するのか。

A 御津中学校の北にある、御津北グラウンドで、屋外で行うスポーツ全般が実施できる予定にしている。管理はスポーツ振興課が行う。



中心市街地まちづくり 検討事業

Q 民間活力を活用してということであるが、こういったことを考えているのか。

A 令和6年度においては、まちづくり構想を立案したいと考えており、その中で、JR本竜野駅周辺の公共施設の複合化や民間施設の立地など、活性化を図れるようまちづくりを検討していきたい。

道路新設改良事業

Q 様々な要望があるなかで、利便性、安全性、交通量等どのような選定基準を設け、新設改良する道路を決めているのか。

A 交差点改良や道路幅員が不足する箇所などで、特に、安全性と利便性を考え選定し、大型事業の周辺や要望のある道路、市が交通量の多い箇所などを拡幅しているが、あくまでも地元優先というのが現状である。

ベビー木育ギフト事業

Q 木製玩具は市内の事業者が生産したものなのか。また、木育のニーズを踏まえた新しい取組みなのか。

A 木製玩具については、市内及び県内で生産されたものである。また、国においても木育が推進されており、子どもをはじめとする全ての方が木に触れ合い、木に学び、木とともに生きる豊かな心を育む取組である。

